

03 メンバーに合わせた1on1シナリオを作成する

入力内容

あなたのスコアは、A：70*、B：60*、C：40、D：30です。

メンバーのスコアは、A：30、B：40、C：60*、D：70*です。

※「*」は、48点以上の優勢脳を示します。

メンバーとの関係：部下

1on1の目的、テーマ、内容：最近の業務の進み具合を確認し、困っていることを整理したい。

1on1の時間：30分

1on1の実施方法：対面

メンバーの状況：最近元気がなく、業務の進め方に戸惑っているように見えます。

生成A I からの回答

◆ 二人の関係性と1on1で意識すること

あなたと部下は、あなたはA・Bが優勢で、事実や進捗、手順を整理しながら確認する傾向があり、相手はC・Dが優勢で、気持ちや関係性、全体像や可能性から考えを広げやすい傾向があります。共通する優勢脳はないため、対面では表情や反応を見ながら、相手が安心して話せる空気を先につくると進み具合を聞きやすくなります。

すれ違いやすい点は、あなたが早めに原因や手順を明確にしたい一方、相手は気持ちの整理や先の見通しが持ててから話しやすくなる可能性があることです。最近元気がなく戸惑っている様子があるため、結論を急がず、相手の言葉を受け止めたうえで「進み具合」と「困っていること」を一緒に整理する進め方を意識してください。

◆ 1on1の進め方

0～3分（3分間） | 導入

最初は目的を短く伝え、評価ではなく状況確認と支援の場であることを明確にします。対面なので、表情や姿勢、沈黙の長さを見ながら、周囲に聞こえにくい声量で安心感を優先します。

質問例：

「今日は最近の進み具合と困っていることを一緒に整理したいのですが、今の気分から聞いてもいいですか？」

「話しやすいところから大丈夫ですが、まず確認しておきたいことはありますか？」

声かけ例：

「今日は責める場ではなく、進めやすくするための時間にしたいと思っています。」

3～9分（6分間） | 状況を聞く

業務ごとに細かく詰める前に、相手が今どう感じているか、どこで戸惑っているかを聞きます。言葉が少ない場合は選択肢を出し、話し始めたら遮らず、表情が少し緩む話題を手がかりに深掘りします。

質問例：

「最近の業務で、進んでいると感じることと、止まっていると感じることはそれぞれ何です

か？」

「進め方に戸惑っているとしたら、判断、優先順位、相談先のどこが一番近いですか？」

声かけ例：

「うまく言葉になっていなくても大丈夫なので、今見えている範囲で教えてください。」

9～20分（11分間） | テーマを整理する

出てきた内容を、進捗、困りごと、気持ち、見通しに分けて一緒に整理します。あなたが一方的に分類するのではなく、相手に確認しながら、何が一番負担になっているかを見つけます。

質問例：

「今話してくれた中で、一番エネルギーを使っているのはどの部分ですか？」

「この業務が進みやすくなるために、見通し、手順、相談のどれが整うと助かりそうですか？」

声かけ例：

「ここまで聞くと、進捗そのものより進め方の見通しが持ちにくいことが負担になっていそうですね。」

20～27分（7分間） | 次の行動を考える

次の行動は大きな改善策にせず、相手が明日から動ける小さな一歩にします。相手の納得感を確認しながら、必要な支援、相談タイミング、優先順位を具体化します。

質問例：

「明日から少し進めやすくするなら、まず何を一つ決めるのがよさそうですか？」

「こちらからの支援として、確認の時間を作る、優先順位を一緒に決める、関係者に確認する、どれが助けになりますか？」

声かけ例：

「全部を今日解決しなくて大丈夫なので、まず一つだけ進めやすくしましょう。」

27～30分（3分間） | 確認と締めくくり

最後に決まったことを短く確認し、相手の受け止めを聞いて終えます。元気のなさが続いている様子があれば、業務面だけでなく無理が出ていないかも軽く確認します。

質問例：

「今日整理した内容で、認識が違うところや言い足りないことはありますか？」

「次回までの一歩として、何をいつまでにやる形なら無理が少なそうですか？」

声かけ例：

「今日話してくれたことを踏まえて、次はこの一歩から一緒に確認していきましょう。」

◆ 1on1で避けたいこと

1. 進捗確認を詰問のように進める

最近元気がなく戸惑っている様子があるため、最初から遅れや原因を細かく確認すると、防衛的になり本音が出にくくなります。

おすすめの対応：

「まず状況を一緒に見たいので、話しやすいところから教えてください。」と入口を柔らかくします。

2. すぐに解決策や手順を提示する

相手が何に困っているかを整理する前に答えを出すと、気持ちや見通しの不安が残ったままになりやすいです。

おすすめの対応：

困りごとを一度書き出し、「この中で最初に扱うならどれがよさそうですか？」と確認します。

3. 沈黙を埋めようとして話しすぎる

対面では沈黙や視線の変化にも考えているサインが出ます。すぐに言葉を重ねると、相手が自分の状態を整理する時間を失います。

おすすめの対応：

数秒待ってから、「急がなくて大丈夫です。考えながらでもいいですよ。」と声をかけます。

ご利用にあたって

同じスコアや入力内容であっても、生成される回答は毎回同じになるとは限りません。

日を改めて利用することで、別の視点や回答を得られる場合があります。

生成A I の回答は、正解としてそのまま使うのではなく、実際の相手や場面を踏まえながら、ご自身の判断材料としてご利用ください。

利き脳（思考特性）は、環境やトレーニング、役割などによって変化します。より現在の状況に合った回答を得るため、年1回程度を目安に再受検することをおすすめします。

関連資料・サービス



ガイドブック | デジタル版

診断結果の見方や、各タイプの特徴を確認したい方はこちら



b-partners.co.jp

/.../



生成AI活用サービス

別のテーマで試したい方や、もう一度利用したい方はこちら



b-partners.co.jp

/.../



生成AI活用ガイド

ご自身の生成AIを使って、診断結果を活用するための豊富な入力例はこちら



b-partners.co.jp

/.../